

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 施設所在地 | 北砂5-16-13 グリーンガーデン1階 |
| 施設名   | 小鳩スマート保育所 北砂         |

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

手先・指先遊び

〈テーマの設定理由〉

個々の発達過程に応じて保育室内の探索活動を楽しんでいる姿が見受けられる。つまんでみる・引っ張ってみることで感触の面白さを味わっているため、子どもの『気になる』気持ちを思うがままに表現できる環境を提供し、素材とのふれあいからさらなる感性や想像力を育みたいことから、本テーマを設定した。

2 活動スケジュール

気になる玩具を手に取り、つまんだり引っ張ったり、押し込んだりして感触を味わう。玩具とのかかわりの中で、色・音・形等の違いの不思議さを五感を通して楽しむ。興味に応じて、同じものを繰り返し手に取ってみたり次々に色んな玩具と取り替えて比べてみたりして遊ぶ。

- 1月 新しい玩具やお気に入りの玩具など気になるものに手を伸ばし、感触や音を楽しむ
- 2月 落ち着ける環境の中で、他児や保育者の遊びを観察しながら、自分なりの楽しみ方で遊ぶ  
近くにいる他児や保育者と、玩具を用いて同じ遊びを楽しむ

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- ・背面付きの棚を用いて、ゆとりをもって玩具をひとつずつ配置する
- ・揺らすと音が鳴るペットボトルの玩具
- ・ラトル数種
- ・布製絵本

#### 4 探究活動の実践

##### 〈活動の内容〉

①新しい玩具や絵本があることに気づき、自由に手にとって遊ぶ。その姿を見て他の園児も興味を示し、ただ眺めてみたり同じ玩具に手を伸ばしたりして様子を伺っている。保育者に笑顔で見守ってもらくと、安心した様子で振ってみたり舐めたりして、音や感触を味わっている。

②遠目から他児の遊びを眺めていた園児が、そっと近づいてみようとする。他児から見えないスペースに保育者が玩具を置くと、園児がその玩具に気付いて手にしてみる。玩具から音が鳴る度に反応する保育者を見て、園児が笑顔になり、同じ動きを繰り返して保育者の反応を楽しんでいる。

##### 〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

①A児が棚からラトルを手にとって床に置き、次々に出してやることを楽しんでいたら、B児がラトルの一部を引っ張ると「カラン」と音が鳴った。その様子を見たA児が不思議そうに駆け寄り、同じようにして引っ張ってみると、音が鳴った。近くの保育者に玩具を見せに行くと「すごい！綺麗な音だね」と言われ満足気な表情を見せていた。それぞれが同じ種類の玩具を手に取り、互いに見せ合うように音を奏でて楽しんでいた。

②普段から慎重に玩具を選んでいるA児が、新しい玩具に興味があるものの遠くから他児の様子を見ていた。気付いた保育者が園児に微笑みかけてみると、表情は変わらず保育者の先の玩具を集中して観察していた。A児が他の玩具で遊んでいる際に保育者がA児の近くに新しい玩具を置いてみると、周囲を気にしつつも玩具を触り始めた。棚の陰に隠れ、他児からの視線を感じない環境と分かると、保育者と二人きりで音を鳴らす⇒「わあ！」と保育者が驚く⇒さらに玩具を鳴らすことを繰り返していた。



#### 5 振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・ゆとりある玩具の配置や、棚を壁代わりにして小さい遊びのコーナーづくりをすると、個々の遊びが自然と深まり熱中できることが分かった。
- ・一人遊びが主ではありつつも、同じ玩具に興味を示してみたり他児の真似をして同じ遊び方をしてみたりと、回を追うごとに園児同士のかかわりが多く見られるようになった。成長に見合った玩具や素材を整えておくことで、遊びが楽しく広がり、人とのかかわりも増えることが分かった。
- ・ラトルに気付いた園児は振って遊ぶ他指先でつまんでみたり逆さに立てかけたりと、自分なりに試したり工夫したりして繰り返して楽しむ姿が見られた。